



作物名 おかひじき ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) おかひじき		栽培地域 南陽市等	
			
由来及び特性 江戸時代、庄内浜で取れた「おかひじき」の種子が、船で最上川を上り、船着場のあった砂塚村(現 南陽市)に植えられるようになったのが、置賜地方の栽培の始まりだと言われている。本来は海岸の砂地に自生するアカザ科の野草。各家庭の畑で栽培されるようになり、代表的な夏野菜として好んで食される。			
は種 2/上～10/上	定植 —	収穫 3/下～11/下	
種子・種苗増殖法 種子増殖			
種子・種苗の入手方法 各種苗会社のカタログにあり、種苗店から購入可能			
利用方法 おひたし、和えもの、サラダ等			
生産組織 JA山形おきたま南陽おかひじき部会	代表者・連絡先	JA山形おきたま 営農経済部	TEL: 0238-46-5302
流通状況 JA、地元市場を通じ、県内・東北・京浜市場へ。			
販売形態(購入できる場所等) 地元スーパー、JA山形おきたまの直売所やインターネット販売等。JA山形おきたま営農経済部(TEL:0238-46-5302)			
現状レベル A	振興方向 <ol style="list-style-type: none"> 生産拡大の支援 消費宣伝PR活動の実施。 		
振興方向レベル B			
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考	山形おきたま伝統野菜に認定

作物名 なす ブロック 置賜

<p>名称 (品種・地域名等) <small>うすかわまる</small> 薄皮丸なす</p>	<p>栽培地域 置賜一円</p>	
		
<p>由来及び特性</p> <p>南陽市の沖田与太郎氏が、新潟からの行商人を通じ種子を入手したのが由来といわれる。地域に出回った当初は「沖田なす」と呼ばれた。その後、「薄皮なす」、「薄皮丸なす」と表現が変化していった。小なすとして収穫され、皮が薄く、柔らかいため、一夜漬けに向く。</p>		
<p>は種 3/上～</p>	<p>定植 5/下</p>	<p>収穫 6/下～9/下</p>
<p>種子・種苗増殖法 種子増殖</p>		
<p>種子・種苗の入手方法 置賜地域内外の各種苗店</p>		
<p>利用方法 浅漬け等</p>		
<p>生産組織 JA山形おきたま 米沢薄皮丸なす部会、 米沢青果なす部会</p>	<p>代表者・連絡先 JA山形おきたま TEL: 営農経済部 0238-46-5302</p>	
<p>流通状況 地元市場の取扱量がおおよそ130tでその2割が地元加工業者に販売される。加工業者や地元スーパーとの契約栽培や農産物直売など、置賜地域内の流通が多い。家庭菜園での作付け、自家消費も多い。</p>		
<p>販売形態(購入できる場所等) 地元スーパー、JA山形おきたまの直売所やインターネット販売等。JA山形おきたま営農経済部(TEL:0238-46-5302)</p>		
<p>現状レベル A</p>	<p>振興方向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設栽培等による出荷時期の拡大。 2. 量販店を含めたPR活動による県外消費の拡大。 	
<p>振興方向レベル B</p>		
<p>担当部署 置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当</p>	<p>備考 山形おきたま伝統野菜に認定</p>	



作物名 もやし ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) おのがわまめ 小野川豆もやし		栽培地域	米沢市小野川地区
			
由来及び特性			
<p>小野川温泉の温泉熱を利用して栽培されている。江戸時代始め頃から行われていると言われており、現在の豆もやし業組合は大正12年に組織された。普通のもやしと異なり胚軸が20cm程に生長する。また、胚の部分によって白目・赤目・黒目系に分かれ用途によって使い分けされる。白目系で5日、赤目系で7日(床温25～30℃)と養成期間が非常に短い。</p>			
は種	6/中～下	定植	—
収穫	11/上(もやし豆)、11/下～3/下(もやし)		
種子・種苗増殖法	種子増殖		
種子・種苗の入手方法	不可		
利用方法	煮物		
生産組織	小野川豆もやし業組合	代表者・連絡先	
流通状況	小野川温泉の土産物店、青果商への流通がほとんど。他に温泉旅館、市内百貨店で極少量が流通。		
販売形態(購入できる場所等)	岩瀬商店(TEL:0238-32-2701)、管内直売所		
現状レベル	B	振興方向	地域内の生産者が減少しており、地域外を含めた担い手の確保を図っていく。
振興方向レベル	C		
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考	山形おきたま伝統野菜に認定

作物名 **たいさい** **ブロック** 置賜

名称 <small>(品種・地域名等)</small> 雪菜 <small>ゆきな</small>		栽培地域 米沢市上長井地区	
		 	
由来及び特性 米沢藩主・上杉鷹山公が栽培を奨励し始まったとも言われ、従来は「かぶのとう」と言い「遠山かぶ」のとう(花茎)を食していた。現在栽培されているものは、長岡菜との自然交雑から選抜育成したもので昭和5年から栽培され、雪との係わりが深いその栽培法から「雪菜」という名称がつけられたとされている。			
は種 8/下~9/上	定植 —	収穫 12/中~3/中	
種子・種苗増殖法 種子増殖			
種子・種苗の入手方法 不可			
利用方法 ふすべ漬け(漬物)、サラダ等			
生産組織 米沢市上長井雪菜生産組合	代表者・連絡先 JA山形おきたま 米沢支店	TEL: 0238-37-2708	
流通状況 JAを通じて米沢青果市場に出荷される。地元スーパー等における販売が主体だが、一部はJAを通して県外にも出荷されている。加工品(ふすべ漬け)は地元生協や小売店のほか、個人販売も行われている。			
販売形態(購入できる場所等) 地元スーパー、JA山形おきたま直売所(米沢愛菜館)。JA山形おきたま米沢支店(TEL:0238-37-2708)			
現状レベル B	振興方向 新しい料理法の提案、PRによる消費の拡大。PR活動による販売強化および加工業者との連携強化。		
振興方向レベル C			
担当部署 置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考 山形おきたま伝統野菜に認定		

作物名 うこぎ ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) うこぎ		栽培地域 米沢市、川西町	
			
由来及び特性 米沢藩第9代藩主上杉鷹山公が、防犯と食用を兼ねた垣根として奨励したことから始まる。落葉低木で樹高は2m～7m。短枝を多くだし4～7mmの細い刺がある。			
は種 —	定植 4～5月、10～11月	収穫 5～9月(新梢)、 3～5月(新芽)	
種子・種苗増殖法		休眠枝挿し、緑枝挿しによる挿し木繁殖	
種子・種苗の入手方法		米沢地方森林組合で販売	
利用方法		天ぷら、和え物(新梢、新芽)	
生産組織 なし	代表者・連絡先		
流通状況		生産者による地元旅館や料理店への直接販売が主体だが、JA山形おきたまや地元市場を通じた流通も少量ある。	
販売形態(購入できる場所等)		JA山形おきたま営農経済部(TEL:0238-46-5302)	
現状レベル B	振興方向 歴史的背景を売りとするPR 古くて新しい野菜としての一般消費拡大 観光資源として地域内料理店や旅館等での利用拡大		
振興方向レベル C			
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考	山形おきたま伝統野菜に認定



作物名 なす ブロック 置賜

名称 <small>(品種・地域名等)</small> ^{くぼた} 窪田なす		栽培地域 米沢市窪田地区	
			
由来及び特性 米沢市窪田の地名に由来。1600年に城代家老の色部長門守が、越後から導入したといわれる。その後優良系統を選抜。果実は巾着型でへた部より縦に果溝が浅く入り、花痕部が大きい。皮は堅め。			
は種 3/中～下	定植 5/中下	収穫 6/下～10/上	
種子・種苗増殖法 種子増殖			
種子・種苗の入手方法 不可			
利用方法 漬物			
生産組織 なし		代表者・連絡先	
流通状況 地元加工業者との契約栽培のみで青果の流通はほとんどない。			
販売形態(購入できる場所等) 加工品は地元加工業者、観光地の売店、インターネット販売等で購入可。			
現状レベル B		振興方向 種子の維持を図る。	
振興方向レベル C			
担当部署 置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当		備考 山形おきたま伝統野菜に認定	

作物名 かぶ ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) ^{とおやま} 遠山かぶ		栽培地域 米沢市上長井地区	
			
由来及び特性 栽培地の米沢市遠山の地名に由来する。17世紀に越後から導入。鷹山公(1800年頃)が産業振興の一つとして振興。欧州系のかぶで根は青首でやや円錐形をしている。肉質が堅く繊維質で甘みあり。根径は8~9cm。			
は種	8/下~9/上	定植	—
種子・種苗増殖法		種子増殖	
種子・種苗の入手方法		不可	
利用方法		漬物、かぶ汁等	
生産組織	米沢市上長井雪菜生産組合	代表者・連絡先	JA山形おきたま 米沢支店 TEL: 0238-37-2708
流通状況			
地元加工業者との契約、上長井雪菜生産組合員が生産。			
販売形態(購入で加工品は地元加工業者、観光地の売店など。JA山形おきたま米沢支店(TEL:0238-37-2708)きる場所等)			
現状レベル	B	振興方向 形質安定化のために、選抜を継続するとともに、種子の維持を図る。	
振興方向レベル	C		
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当		備考 山形おきたま伝統野菜に認定



作物名 うり ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) <small>こうずく</small> 高豆蔻うり		栽培地域 川西町高豆蔻地区			
					
由来及び特性 栽培地の川西町高豆蔻地区が名前の由来。少なくとも戦前から栽培されているが、詳細は不明。果形は俵形で長さ15～25cm程度、身が厚く肉質のしまりが良いので漬物に向く。					
は種	4/中～下	定植	5/下～6/上	収穫	6/下～7/下
種子・種苗増殖法		種子増殖			
種子・種苗の入手方法		不可			
利用方法		漬物			
生産組織		なし		代表者・連絡先	
流通状況		加工して粕漬けにしたものが個人・地元加工業者等を通して販売されている(粕漬けは12月から販売)。青果の出荷はない。			
販売形態(購入できる場所等)		地元生産者、加工業者			
現状レベル		B			
振興方向レベル		C			
振興方向		種子の維持を図る。			
担当部署		置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味い山形戦略担当		備考 山形おきたま伝統野菜に認定	



作物名 ふき ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) <small>なつがり</small> 夏刈ふき		栽培地域 高畠町夏刈地区	
			
由来及び特性 昭和初期に夏刈地区から隣接地である川西町吉田地区に嫁いだ人が、里帰りする時に株を分けてもらい、実家の畑に植えたのが始まりとされている。ハウス栽培は昭和50年代から始まった。			
は種	—	定植	—
		収穫	ふき:4/下~5/中 ふきのとう:12月、3~4月
種子・種苗増殖法		栄養繁殖	
種子・種苗の入手方法		不可	
利用方法		煮物、粕漬、酢漬等	
生産組織	なし	代表者・連絡先	
流通状況		地元市場に出荷され、地元消費がほぼ全量である。量は少ないが、ふきのとうとしての出荷もある。	
販売形態(購入できる場所等)		地元スーパー等	
現状レベル	B	振興方向	生産の維持
振興方向レベル	C		
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当		備考 山形おきたま伝統野菜に認定


作物名 だいず ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等)	べに だいず 紅大豆	栽培地域	川西町
			
由来及び特性			
町内において煮豆用として少量生産されていたもの。低収でウイルス抵抗性はないと考えられるが、詳細な特性は、不明。県内外の実需者から注目を受けている。			
は種	6月上旬～中旬	定植	—
収穫	10月下旬		
種子・種苗増殖法	種子増殖		
種子・種苗の入手方法	不可		
利用方法	煮豆、大豆加工品原料、菓子原料		
生産組織	紅大豆生産研究会	代表者・連絡先	川西町産業振興課 TEL: 0238-42-6696
流通状況	全量契約栽培となっている。		
販売形態(購入できる場所等)	かわにし森のマルシェ、管内直売所		
現状レベル	A	振興方向	実需との連携による加工品の開発。加工原料としての用途拡大と製品化。
振興方向レベル	C		
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考	山形おきたま伝統野菜に認定

作物名 **だいこん** **ブロック** 置賜

名称 <small>(品種・地域名等)</small> ずさやまいこん 梓山大根	栽培地域 米沢市梓山地区	
		
由来及び特性 梓山(ずさやま)地区が名前の由来。米沢藩主・上杉鷹山公が同地区に栽培を勧めたのがきっかけといわれている。米沢市内各地に自生する弘法大根から改良とも言われているが、詳細は不明。細身で先細り、堅くて辛みがある。		
は種 8/上	定植 —	収穫 11/上
種子・種苗増殖法 種子増殖		
種子・種苗の入手方法 不可		
利用方法 漬物		
生産組織 なし	代表者・連絡先	
流通状況 —		
販売形態(購入できる場所等) なし		
現状レベル D	振興方向	種子の維持支援
振興方向レベル C		
担当部署 置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考 山形おきたま伝統野菜に認定	

作物名 あさつき ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) <small>おのがわ</small> 小野川あさつき		栽培地域 米沢市小野川地区	
			
由来及び特性 冬季に小野川温泉の湯を利用して栽培される野生のあさつきである。年末、積雪1mほどのあさつきの畑に温泉のお湯を引き入れることで雪を融かし、新芽を生長させて収穫される。根を付けた状態で出荷販売され、辛味が少なく茹で上がりがシャキシャキしている。			
は種	—	定植	8/下
収穫	1/上～3/中		
種子・種苗増殖法		球根増殖	
種子・種苗の入手方法		入手不可	
利用方法		おひたし、和え物、天ぷら等	
生産組織		なし	
代表者・連絡先			
流通状況		小野川温泉の青果商、土産物店等で極少量が流通する。	
販売形態(購入できる場所等)		岩瀬商店	
現状レベル		B	
振興方向レベル		C	
振興方向		種子の維持保存	
担当部署		備考	
置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当		山形おきたま伝統野菜に認定	



作物名 たかな ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) つくも ^{たかな} 高菜		栽培地域 高畠町	
			
由来及び特性 栽培されていた地名が、「つくも(九十九→筑茂→津久茂)」であることに由来している。詳しい経過は不明だが、かなり古くから栽培されていた。辛味が強いのが特徴であるため、好みが多分かれたことから、昭和50年頃に食べやすい山形青菜が出回るようになり、生産量が減少した。生産者の高齢化が進み一時は消滅寸前であったが、その後、加工業者が着目し、契約栽培を進める動きがある。山形青菜よりも草丈が長く、葉や中肋が全体的に細身。中肋の断面が三角形をしている。色は底深い緑色。			
は種	9月上旬	定植	—
収穫			10月下旬～ 11月上旬
種子・種苗増殖法		種子増殖	
種子・種苗の入手方法		不可	
利用方法		漬物	
生産組織	なし	代表者・連絡先	
流通状況	—		
販売形態(購入できる場所等)	なし		
現状レベル	D	振興方向 種子の維持支援、生産の維持	
振興方向レベル	C		
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当		備考 山形おきたま伝統野菜に認定

作物名 ライマメ ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) おかめささぎ		栽培地域 置賜地域一円	
			
由来及び特性 江戸時代末期に渡来し、明治初期に各地で導入が進んだライマメの一種。ライマメは全国的には栽培がほとんど絶えたが山形県内ではいくつか残されており、置賜地域では「おかめささぎ」として現在も栽培されている。郷土料理の材料としても用いられる。			
は種	5/上～中	定植	5/下
		収穫	8/下
種子・種苗増殖法		種子増殖	
種子・種苗の入手方法		種子の流通は不明だが、豆として販売される	
利用方法		煮豆、餡	
生産組織		代表者・連絡先	
生産組織 なし			
流通状況 地元青果商、農産物直売所、スーパー等で販売されている。			
販売形態(購入できる場所等) 八百勘本店			
現状レベル B		振興方向 生産の維持	
振興方向レベル C			
担当部署		備考	
置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当		山形おきたま伝統野菜に認定	

作物名 だいず ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) ^{うま} 馬のかみしめ		栽培地域 長井市	
			
由来及び特性 30年以上前から長井市を中心とした置賜地域で、えだまめや青大豆として利用されてきた在来種であるが、育成・来歴は不明である。品種の特徴は、成熟した場合(大豆)に子実(豆)の表面に馬がかんだ歯型のような模様があり、えだまめとしては9月下旬から10月上旬に収穫できる晩生種である。			
は種 6月上旬～中旬	定植 —	収穫 9月下旬～10月上旬	
種子・種苗増殖法 種子増殖			
種子・種苗の入手方法 長井市内の方で生産者の会に入会の意向があれば、可			
利用方法 えだまめ、青大豆			
生産組織 馬のかみしめ生産者の会	代表者・連絡先 馬のかみしめ生産者の会		
流通状況 青大豆の流通が大部分であり、山形市や仙台市の業者へ販売している。地元で菓子等の加工食品も販売されている。一部がえだまめとして長井市内の直売所及び関東の量販店で販売。			
販売形態(購入できる場所等) 道の駅川のみなと長井、おらんだ市場菜なポート、かわにし森のマルシェ			
現状レベル B	振興方向 販売戦略を含めた生産振興策を生産者と検討していく。		
振興方向レベル C			
担当部署 置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考 山形おきたま伝統野菜に認定		



作物名 **だいこん** **ブロック 置賜**

名称 <small>(品種・地域名等)</small> はなづくだいこん 花作大根	栽培地域 長井市	
	写真2	
由来及び特性 上杉藩時代から長井市花作地区で栽培されてきた漬物用の大根。根部の形は円筒形または徳利形をしている。大きさは一般の大根の約1/3である。身が硬く、辛味、苦味が強いので塩漬けにして辛味、苦味をとった後、たくあん、味噌漬け、糟漬けなどの漬物にして食べる。肉質が硬く長期保存が可能なことから、長漬け用として重宝されていた。		
は種 8/下~9/上	定植 —	収穫 11/上~下
種子・種苗増殖法 種子増殖		
種子・種苗の入手方法 代表に要相談		
利用方法 漬物		
生産組織 ねいてぶ花作大根	代表者・連絡先 ねいてぶ花作大根	
流通状況 長井市内の直売所等で販売されている。加工品(紅花甘酢漬等)の原料は約100kg。生産者が加工し販売。		
販売形態(購入できる場所等) 道の駅川のみなと長井、おらんだ市場菜なポート		
現状レベル B	振興方向 広くPRすることで知名度の向上を図る。優良系統種子の維持。	
振興方向レベル C		
担当部署 置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考 山形おきたま伝統野菜に認定	

作物名 きゅうり ブロック 置賜

名称 <small>(品種・地域名等)</small> ^{くろふじ} 畔藤きゅうり		栽培地域 白鷹町	
			
由来及び特性 明治以前から栽培。地区の篤農家が伊勢参りの途中農家に宿を取ったおりに、きゅうりの種子と育苗の技術を習得し、帰途についたと言いつたといわれている。明治20年ころ3名だけで密かに栽培していたが、昭和に入り作付けが拡大。戦後地区に青果市場が出来て、買い付けが活発に行われたが、その後衰退し、昭和40年に市場から完全に姿を消した。			
は種 4/上	定植 ハウス栽培5/上	収穫	ハウス栽培6/上～7/中
種子・種苗増殖法		種子増殖	
種子・種苗の入手方法		代表に要相談	
利用方法 生食			
生産組織 なし	代表者・連絡先	置賜総合支庁西置賜農業技術普及課	
流通状況 直売所での販売及び地元旅館・レストランに卸している。量は少ない。			
販売形態(購入できる場所等) 愛菜館白鷹店			
現状レベル B	振興方向 種子の維持を図る。		
振興方向レベル C			
担当部署	置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考	山形おきたま伝統野菜に認定

作物名 かぼちゃ ブロック 置賜

名称 <small>(品種・地域名等)</small>		<small>うっさわ</small> 宇津沢かぼちゃ		栽培地域		飯豊町中津川地区宇津沢集落	
							
由来及び特性 飯豊町中津川地区の宇津沢集落で古くから栽培していた在来かぼちゃ。果皮は赤(橙)色で、食感はホクホク感がある。同地区の他の集落で栽培してもこの味は出ないと言われている。							
は種		—		定植		5月下旬～ 6月上旬	
種子・種苗増殖法				自家採種			
種子・種苗の入手方法				採種者からの譲り受け			
利用方法		煮物、てんぷら、スープ、サラダ、その他料理全般					
生産組織		宇津沢かぼちゃの里		代表者・連絡先		宇津沢かぼちゃの里	
流通状況		直売所、個人直売					
販売形態 (購入で きる場所等) 飯豊町道の駅いいで めざまみの里観光物産館、いいで添川温泉しらさぎ荘、白川荘で9月中旬から10月下旬頃まで直売している。							
現状レベル		B		振興方向 生産振興とともに、知名度向上による利活用推進を図っていく。			
振興方向レベル		C					
担当部署				備考			
置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当				山形おきたま伝統野菜に認定			

作物名 なす ブロック 置賜

名称 (品種・地域名等) ハツ房^やなす^{ふさ}		栽培地域 長井市	
			
由来及び特性 <p>長井市の矢久保家の先祖が、約250年前に新潟から長井に移り住んだ際に持ち込み、生産を始めたのがきっかけと言われている。 果実の断面が八角形のものがあるので「ハツ房(やつふさ)」と言われている。 果実の形状はやや縦長の巾着型で、へたととげがほとんど見られない。皮は薄い。</p>			
は種 3月上旬	定植 5月中下旬	収穫 7月上旬～ 10月中旬	
種子・種苗増殖法 自家採種			
種子・種苗の入手方法 代表に要相談			
利用方法 浅漬けなどの漬物としての利用が主体			
生産組織 きへちやなすの会	代表者・連絡先 きへちやなすの 会		
流通状況 直売所、個人直売			
販売形態(購入できる場所等) おらんだ市場菜なポート			
現状レベル B	振興方向 生産振興とともに、知名度向上による利活用推進を図っていく。		
振興方向レベル C			
担当部署 置賜総合支庁農業振興課 置賜総合支庁西置賜農業技術普及課 県産米・農産物ブランド推進課 美味しい山形戦略担当	備考 山形おきたま伝統野菜に認定		